

地域科学技術イノベーションの新たな推進方策について

～地方創生に不可欠な「起爆剤」としての科学技術イノベーション～ 最終報告書(案) 【概要】

1. 地域の科学技術イノベーション活動の基本的方向性 … 定義・範囲、意義、地方創生の流れにおける科学技術イノベーション(STI)の位置づけ …

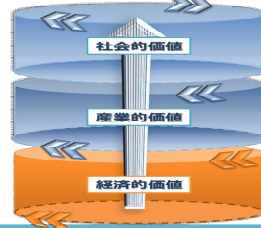
● 科学技術イノベーション振興政策における地域の捉え方(定義・範囲)

ABC(Actors-Based-Community)

- 地域の**多様性**を踏まえつつ、**汎用性**のあるシステム(=STI活動を担う多様な主体が相互に作用し合う形態)として地域STIを捉える
- 様々な主体(地方公共団体、大学、企業、金融機関等)の構成員が、自身が所属する主体の壁を越えて相互に連携し合いながら、実際のSTI活動を動かしていく**コミュニティをABC(実際に活動する主体(Actors)を基礎(Based)とする集団(Community))**と捉える

「3つの価値」を生み出す潜在力のある地域STI

- **地域STIを通じて、「経済的価値」が生じ、そこから「産業的価値」、さらには「社会的価値」をもたらすことが可能となる。**

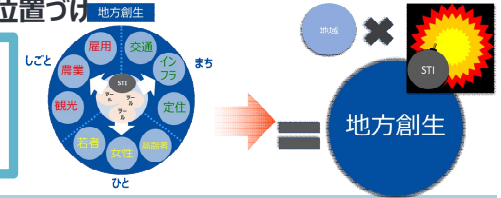


● 地域が科学技術イノベーション活動を行う意義・目的

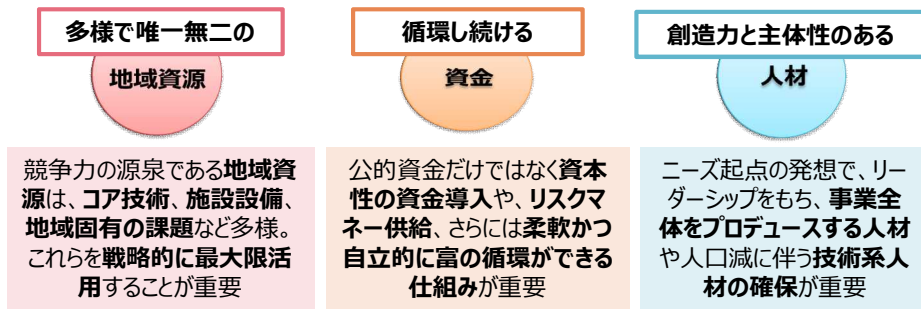
- 地域STIは、持続可能な地域経済の発展や、誰一人取り残さない地域社会の実現に不可欠なツールとして、多様な政策課題解決に寄与するもの
- STI活動を通じて、地域の主体となる一人ひとりの全ての人々が、他者との関わりの中で「豊かさ」と「幸せ」を感じながら、持続的発展と共存を図るとともに、国としての多様性の確保を通じて、国家基盤としてのレジリエンスを高める

● 地方創生の流れにおける科学技術イノベーションの位置づけ

- **STIを必要不可欠な「起爆剤」として利用し、イノベーションの連鎖を通じて、地域の抱える諸課題を克服することで、地域の未来ビジョンの実現と地方創生が実現し得る**

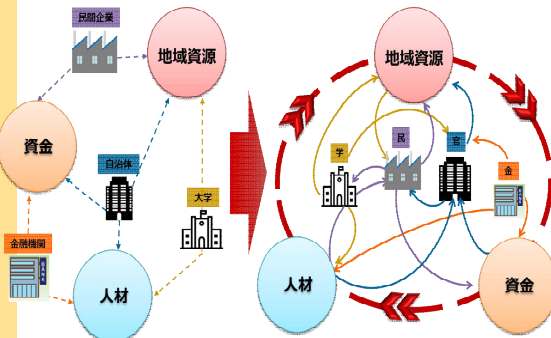


2. これまでの国内外の地域の科学技術イノベーション事例からの教訓 …「モノ」、「カネ」、「ヒト」とイノベーション・エコシステムの形成…



地域の「モノ」、「カネ」、「ヒト」を結びつけ循環させるエコシステムの形成

- イノベーション・エコシステムの形成とは、**地域資源、資金、人材を、地域内で活動する多種多様な主体が有機的に結びつけていくことで、イノベーションが絶え間なく創出される状態のこと**
- 地域内で主導的にSTIを展開していく主体が存在し(創成期)、その主体が他主体とも連携することで、地域のモノ、カネ、ヒトが繋がっていく(発展期)
- 地域外の資源や人材等との組合せからエコシステムのさらなる展開が期待されることから、**広域連携も重要**



3. 科学技術イノベーションによる地方創生の実現に向けて

● 直面する社会変化の方向

- Society 5.0が目指す社会…知識を共有・集約して、創造的に社会課題を解決することで**新たな価値を生み出す知識集約型社会**
- 地方創生が目指す社会…多様な課題を抱える地域が、課題解決に必要な不可欠な「起爆剤」として**STIを最大活用し、新たな価値創造をもたらすことで、地方創生が実現される社会**

● それぞれの主体に期待される役割とエコシステム形成に向けた鍵

国	地域資源	資金	人材
<ul style="list-style-type: none"> ➢ シーズプッシュ&ニーズプル(ABCによるニーズ起点の目標・課題設定)の両側面からの地域STI振興(政府全体として連携) ➢ 厳格な評価の下、集中と選択によるメリハリ 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ リスクマネーを民が地域に供給しやすいよう、地方での資金循環に向けた環境基盤整備 ➢ 資本集約型の領域・分野について、ポテンシャルのある地域に対する集中投資 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 保有する研究施設・機器の共用促進 ➢ 地域資源の発掘や、STIによる地域資源の再生(課題設定力、地域理解力の向上) ➢ 地域資源の最大活用に向けた学内の分業(教育、研究、社会貢献、事務、経営等) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学生も巻き込んだABCを中心とした地域STI振興(教育、研究、地域貢献の一体化) ➢ 地域資源の見える化、インセンティブ付与、魅力ある労働市場の創造による人材の呼び込み
<p>地方公共団体及び大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 保持する資産活用や、ファンド、寄附、産業界からの投資呼び込みなど、財源の多様化に向けた取組 ➢ 資産マネジメントの機能強化に向けた大学改革 	<p>地方公共団体及び大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 保持する資産活用や、ファンド、寄附、産業界からの投資呼び込みなど、財源の多様化に向けた取組 ➢ 資産マネジメントの機能強化に向けた大学改革 	<p>地方公共団体(地域の他主体と連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域資源の見える化、インセンティブ付与、魅力ある労働市場の創造による人材の呼び込み 	<p>大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「イノベーション力」の向上に繋がる、誰もがいつでも享受できるリカレント教育の提供 ➢ 「プロデューサー人材」の要職への長期的配置
<p>エコシステムの形成に向けた鍵</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ それぞれの主体が役割分担・分業しつつ、主体性を持って、必然性に基づいて相互連携 ⇒ 多様な主体の構成員による、創造性のあるビジョン達成を目指す実動コミュニティの形成(=ABC構築) <ABC構築に当たってのポイント> • 地域がやりたいこと、地域ができることや地域が有する強みを生かすこと(=「地域科学技術」発イノベーション)、及び地域に求められること(=「地域課題」発イノベーション)の3つを調和して、それぞれの主体性を誘引 • 挑戦力や、変化への適応力を尊重する機運を醸成 • 産業的価値のみならず社会的価値も重視 • 中立的立場の大学を中心とした広域連携の模索 			